【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第３区分
【発行日】平成21年9月10日(2009.9.10)

【公開番号】特開2008-30143(P2008-30143A)
【公開日】平成20年2月14日(2008.2.14)
【年通号数】公開・登録公報2008-006
【出願番号】特願2006-205595(P2006-205595)
【国際特許分類】
Ｂ２６Ｄ　7/06　(2006.01)
Ｂ２６Ｄ　7/01　(2006.01)
Ｂ２６Ｄ　7/20　(2006.01)
Ｂ４２Ｃ　11/04　(2006.01)
Ｂ４２Ｃ　1/12　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２６Ｄ　7/06　Ｅ
Ｂ２６Ｄ　7/01　Ｃ
Ｂ２６Ｄ　7/20
Ｂ４２Ｃ　11/04
Ｂ４２Ｃ　1/12

【手続補正書】
【提出日】平成21年7月27日(2009.7.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
背部が綴じられた束状シートを、背部を下流側にして搬送する搬送経路と、
前記搬送経路の所定の位置に配設され、搬送経路に沿って搬送されてくる前記束状シートを回転させる回転手段と、
前記搬送経路の前記回転手段下流側に配設され、前記束状シートの背部以外の縁部を断裁領域において断裁する断裁手段と、を具備するシート束断裁装置であって、
前記回転手段は、前記束状シートの縁部を断裁するために束状シートを回転させる際、前記断裁手段の断裁領域内に最初に前記束状シートの背部を進入させ、その後、縁部を断裁領域に位置させることを特徴とするシート束断裁装置。
【請求項２】
一つの縁部が断裁された後、他の縁部を断裁するために束状シートを回転させる際、前記断裁手段の断裁領域内に最初に前記束状シートの背部を進入させ、その後、縁部を断裁領域に位置させることを特徴とする請求項１に記載のシート束断裁装置。
【請求項３】
前記搬送経路の前記回転手段下流側に配設され、前記束状シートを押圧する押圧手段と、を備え、
前記回転手段で前記束状シートを回転させる際、前記搬送経路から前記断裁手段を前記押圧手段よりも退避させ、前記押圧手段によって前記束状シートの状態を規制することを特徴とする請求項１又は２に記載のシート束断裁装置。
【請求項４】
前記押圧手段が有する押圧部材と、当該押圧部材の押圧力を前記束状シートを介して受

ける押圧受け部材とで前記束状シートの状態を規制することを特徴とする請求項３に記載のシート束断裁装置。
【請求項５】
前記断裁手段は、前記束状シートの天部または地部、地部または天部、小口部の順番に当該束状シートを断裁することを特徴とする請求項１乃至４のいずれか１つに記載のシート束断裁装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明のシート束断裁装置は、背部が綴じられた束状シートを、背部を下流側にして搬送する搬送経路と、前記搬送経路の所定の位置に配設され、搬送経路に沿って搬送されてくる前記束状シートを回転させる回転手段と、前記搬送経路の前記回転手段下流側に配設され、前記束状シートの背部以外の縁部を断裁領域において断裁する断裁手段と、を具備するシート束断裁装置であって、前記回転手段は、前記束状シートの縁部を断裁するために束状シートを回転させる際、前記断裁手段の断裁領域内に最初に前記束状シートの背部を進入させ、その後、縁部を断裁領域に位置させることを特徴とする。